

学校教育目標

自ら考え 自らの力で 未来を切り拓く宮野浦の子ども ～自律・協働・創造～

本校ホームページ <http://www.sakata.ed.jp/miyanoura/>



# 宮小だより



令和6年 2月20日号  
発行:酒田市立宮野浦小学校

## 宿題とは 家庭学習とは

年末の職員会議で、次年度から家庭学習のあり方を変え、児童の主体的な学びにつなげることができるようになりたいと話し合いを行いました。端的に言うと「宿題 出しませんよ」となりますが、保護者のみなさんはどのようにお考えでしょうか。今年度、夏休み・冬休みの課題については主体的な学びに近づける取り組みをしてきました。保護者学校アンケートでは、「子どものペースで選択して学習できた」という肯定的な意見がある一方で、「勉強しなくなった」「自学の仕方を教えて欲しい」という意見もいただきました。教職員では、普段の授業を充実させ、家庭学習での負担を減らしていく方向性を全員が確認したものの、「最低ラインは示した方がよい」「学年の発達段階があり低学年は学習習慣を身につける必要がある」との考えもあります。これまで学校は、当たり前のように家庭学習を行わせてきました。文部科学省が示す学習指導要領には、「宿題」という文言はありません。指導例として「家庭学習も視野に入れた指導を行う必要がある」とし、あくまでも学校ごとの取り組みとしています。

家庭学習の取り組みは、学年や学級ごと様々実践しているのが現状です。宿題を出すことで、知識を習得することもあります。やらされた作業になってしまいがちです。これからの子どもたちに身につけて欲しい、主体性や思考力を培うことは難しいと考えます。本物の学力をつけるには、児童自らが教材を選び、取り組むことができるようになることが大切です。教職員は、児童に家庭学習のやり方を身につけさせ、保護者のみなさんからは、自発的に学習に取り組む環境づくりを考えて欲しいと思います。

家庭学習について、児童・保護者・教職員がそれぞれ思いや考えを持っています。まずは、教職員と児童が悩みを話し合い、保護者のみなさんに報告するなどして理解を深めていきたいと思えます。3学期も残りわずかになりましたが、家庭学習について時間や内容など、途中で変わっても問題ありませんので、子どもたちと話をして枠組みを決めていただくことで、新年度もスムーズにスタートすることができます。学校ができることを担任と相談していただいても構いません。「宿題をしない子」が責められない雰囲気づくり、教職員が授業に注力できる環境づくり、児童自らが考え、行動することができる力が前進するように、保護者のみなさんからの協力をお願いいたします。



校長